「人権尊重社会をめざす県民運動強調月間」

8月1日(土)～31日(月)

児童・高齢者に対する虐待、女性に対する暴力、障害者への偏見からの差別など、さまざまな人権問題が増加しています。

また、インターネットを悪用した人権侵害など新たな人権問題も発生してきています。

「人権尊重社会をめざす県民運動」は、これらの現状に対応し「すべての県民がお互いの人権を尊重しながら共に生きる社会」を実現するため、県民総ぐるみで取り組む運動です。

【人権啓発フェスティバル】の開催

期日 8月27日(木)
時間 午前10時～午後4時40分
場所 大宮ソニックシティ
内容 ・人権作文発表
・人権講演会
(歌手・橋　幸夫)ほか
入場料 無料

問合せ 県県民生活部人権推進課
☎048-830-2255

人権作文
「言葉を行動に移す」

皆野中3年
吉田　彩乃さん

「いじめがあったら勇気をもって行動しよう。」ある映画の中で言っていた言葉です。その言葉を聞いて私は言葉が軽く感じ、変な気持ちになりました。ここ何ヶ月「勇気」という言葉に敏感になったからです。その理由は私の過去にあります。

私の周りで初めて大きないじめが起きた時自分たちのこととしてとらえることができていなかったせいか、その重大さをわからないまま、「勇気」と言う言葉を使いました。多くの人が同じようにありきたりの言葉を言いました。そこである先生が私たちに言いました。

「勇気という言葉を簡単に使ってはいけない。それには自己犠牲がともなうことなんだ。」

この言葉を私はずっと覚えています。覚悟もなしに使った自分のおろかさを感じたからです。それ以来この言葉にひけめすら覚えました。

そんな中、私は演劇という活動で、脚本を担当しました。それは、思っていた以上に厳しい作業で、未完成のまま人に任せ、練習に入っていきました。私は、その時点で自分の役割は終わったのだと思い、演出で引っ張る友だちの苦しみに気づくこともなく、日々を過ごしました。「私は甘かった」、そう気づかされたのはもう終わりの頃でした。「大丈夫。」とは声をかけても、何か行動するわけでもなく、友だちを一人にしてしまいました。その時も言葉だけの自分がいました。一歩をずっと踏み出すことができず、大事な時に「勇気」を実行に移すことができませんでした。結局、行動することができなかった自分が使った沢山の言葉には少しの重みもなかったのだと思います。一歩の先には仲間がいる、共に頑張っていく、そのことと共に言葉の大切さは、これからこの過去の事実を含め忘れてはならないことだと思いました。「仲間」も本当にふさわしい関わりがあってこその言葉だと思い、大事な言葉ほど簡単に使ってしまえば、自分もその言葉の価値もなくなってしまうのだとわかりました。

これらの様々な経験から、「勇気」ももちろん、心の言葉には責任があり、行動として表現していくことが大切だと思いました。そして何事からも逃げないことが、私の「勇気」の第一歩だと思います。その一歩の時に仲間がいたら支えになるし、私もその存在でありたいと思います。言葉は人を傷つけると言うけれど、私は自分や周りを成長させられる言葉を使うと同時に、行動にも移せる人になりたいです。その中で、忘れられない先生の言葉や、自分自身の反省を、少しずつの勇気をもって自分の行動の中で示していって、私と私の言葉に重みと輝きをもたせていければと思います。そして、その行動の輪を広げていける努力をしていきたいです。なぜならば、自分自身の言葉を軽くするのも重くするのも自分次第だと実感したからです。

後期高齢者医療保険

新しい保険証はお手元に届きましたか？ ▶▶▶

7月31日までにお手元に届くよう、新しい後期高齢者医療被保険者証（有効期限：平成22年7月31日）を発送しました。保険証が届かない、また内容に不明なところがあるなどの場合は下記へお問い合わせください。

なお、旧保険証は町民生活課保険年金担当へ返却いただくか、裁断するなどして処分してください。

問合せ　町民生活課保険年金担当　☎62-1230　内線103・104